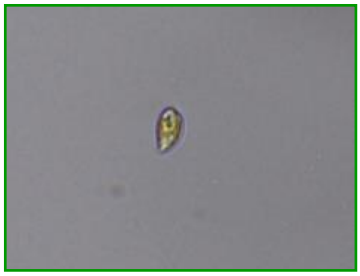
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第28報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門　生物圏係
令和8年10月13日

1.最も数が多かった種類（優占種）

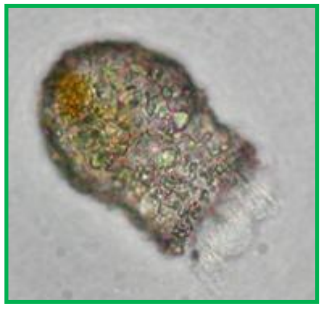
植物プランクトン第１優占種



Rhodomonas sp.
（ロドモナス）
褐色鞭毛藻綱

細胞の形は長楕円もしくは長卵形で、長さが約10μmと小型です。単細胞性で前端よりの細胞口から2本の鞭毛が伸びており、これらを使って回転しながら遊泳しています。葉緑体は1個で、少し黄色みを帯びています。

動物プランクトン第１優占種



Codonella cratera
（スナカラムシ）
繊毛虫類

壺のような黒色の固い殻を持ち、その殻は砂粒を含んでいます。殻前方が開いており、その後ろにくびれがあるのが特徴です。殻の中に無色透明の繊毛虫が入っています。

コメント
植物プランクトンは、細胞数では褐色鞭毛藻に属するロドモナス(*Rhodomonas* sp.)、体積では珪藻に属するアウラコセイラ　グラヌラータ(*Aulacoseira granulata*)が優占種となりました。綱別の体積では、降順で藍藻が約32%、次いで珪藻および緑藻が約26%となりました。動物プランクトンは、繊毛虫類のスナカラムシ(*Codonella cratera*)が優占種となりました。ピコ植物プランクトンは、今週は150,000細胞/mL(輝橙色：96%、深赤色：4%)計数されました。
今週の調査では、植物プランクトンについては藍藻の群体数が前回の約6分の1へと大幅に減少していました。一方、動物プランクトンについては引き続きスナカラムシが優占種となり、個体数は前回の約3分の1に減少していました。

2.計数された主なプランクトンとその数（個体数）*

（1）動物プランクトン

第　1　優　占　種		（個体／L）
繊毛虫類	*Codonella cratera*	420

第　2　優　占　種		（個体／L）
ワムシ類	*Keratella cochlearis*	140

＊個体数は、プランクトンネットNXXX25（目合い41μm）で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測しました。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

～第28報～

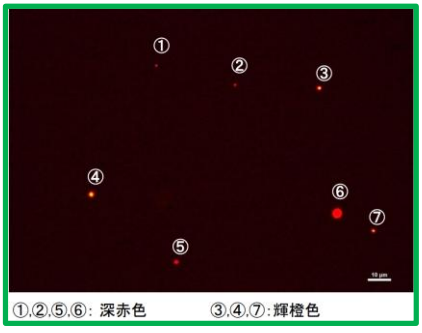
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門　生物圏係

令和8年10月13日

（2）植物プランクトン

（綱）種　　名		細胞数（群体数）	数	体積
（藍）	*Microcystis aeruginosa*＊	3		○
（藍）	*Microcystis wesenbergii*＊	3		
（藍）	*Microcystis novacekii*＊	1		
（藍）	*Aphanothece clathrata*＊	20		
（藍）	*Merismopedia elegans*＊			
（藍）	*Aphanizomenon flos-aquae*＊	2		
（黄鞭）	*Chrysamoeba radians*	20		
（珪）	*Melosira varians*	8		
（珪）	*Aulacoseira granulata*	70	○	◎
（珪）	*Aulacoseira granulata* var. *angustissima*	16		
（珪）	*Aulacoseira ambigua*	18		
（珪）	*Cyclotella glomerata*	40		
（珪）	*Cyclotella* sp.	60		
（珪）	*Stephanodiscus pseudosuzukii*	2		
（珪）	*Synedra ulna*	1		
（珪）	*Nitzschia* sp.	40		
（褐）	*Cryptomonas* sp.	40		
（褐）	*Rhodomonas* sp.	160	◎	
（緑）	*Dictyosphaerium pulchellum*	16		
（緑）	*Oocystis* sp.	40		
（緑）	*Pediastrum biwae*	16		
（緑）	*Scenedesmus* sp.	8		
（緑）	*Micrasterias hardyi*	1		
（緑）	*Staurastrum dorsidentiferum* var. *ornatum*	2		
（藍）	藍藻綱	29	4.9	32.4
（黄）	黄緑藻綱	0	0.0	0.0
（黄鞭）	黄色鞭毛藻綱	20	3.4	1.1
（珪）	珪藻綱	255	43.4	26.2
（渦）	渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
（褐）	褐色鞭毛藻綱	200	34.1	14.8
（み）	みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
（緑）	緑藻綱	83	14.1	25.6
（他）	その他のプランクトン	0	0.0	0.0
	総　細　胞　数	587	総体積（μm^3）	6.43E+05
	種　類　数	23		

注1）細胞数の単位は（細胞／mL）
　　ただし＊印の種は群体数（群体／mL）
注2）優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
　　数字は各綱ごとの占有率（単位：%）
注3）細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
　　試験的に推定した概算値です。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影
(倍率：10×20倍)

（3）見つかったピコ植物プランクトンとその数（細胞数）

ピコ植物プランクトン数		細胞数／mL
（藍）	*Synechococcus* sp.	150,000

注1）プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2～2μm（1μmは1mmの1,000分の1）の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起（緑色光照射）で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。